

チーム名	中津川市役所 政策推進課チーム 中津川市社会福祉協議会チーム
テーマ	中津川市における住みやすさと就労意識に関する調査 小学生向けに「福祉出前講座」を考え、やってみよう!! 福祉出前講座に関わることで、「地域のお姉さん・お兄さん」になる!
学部・学科	経営学部 経営学科
授業科目名	教養ゼミA 教養ゼミB
授業の目的	【教養ゼミA、教養ゼミB】 取り組みを通じて、以下のことができるようになることを目的とする。 ・地域社会の課題を発見し解決策を提案することができる ・根拠をもって論理的に物事を考え、伝えることができる
授業の具体的な内容	、基礎ゼミで身に付けた他者との関係性を構築する力（言語表現力・非言語表現力・傾聴力・受け止める力等）を土台にしながら、実際に地元企業（事業所）からの提案を受け、関係性を深め、自ら地域社会の課題解決策の提案を行う。 教養ゼミAにおいては、実際に地元企業（事業所）からの提案を受けた後、個人で、テーマの決定・課題解決のための提案・プレゼンの発表を行う。教養ゼミBにおいては、グループで課題に対する解決策を検討したのち、事業所への提案にむずびつけるためのフィールドワーク等を各チームで実施し、事業者に対して最終的なプレゼンテーションを行いフィードバックをいただく。 具体的な活動としては【産学官連携プログラム】を実施した。中津川市内の6事業所（中津川市役所 政策推進課、中津川市社会福祉協議会、株式会社サラダコスモ、フカミファーム、市川製茶、中津川市観光局）が直面している課題解決の提案を受け、課題の解決提案に向けチーム分けを行い、それぞれのチームごとにフィールドワークやインタビュー調査、アンケート調査等を実施、課題解決提案に向けた実践などを行ったうえで事業所に向けてプレゼンテーションとフィードバックを報告会で行った。また、2チームについては代表として中津川市長や市内の連携した企業団体等が参加した中津川市域学連携成果発表会に参加し発表を行った。
連携している組織名	中津川市政策推進課 中津川市社会福祉協議会
地域の課題	中津川市役所政策推進課では、地域の課題として若年層の社会増減について課題を持っている。特に10歳代後半から20歳代前半において流出した人口が多く、定住を推進していくためにも若者がどのような意識を持っているのかを把握したいと考えている。特に中津川市の就労に関してどのように感じているのかを把握することが重要であると考えている。 中津川市社会福祉協議会では、社会福祉における人材不足や関心の低下が課題としてあげられている。小学生の段階で福祉について知ることや高齢者について理解を深めることが将来の福祉人材の育成にもプラスになる取り組みになるが、人材不足のため十分にできていない
課題解決に係る目標	上記の点を踏まえ、政策推進課の課題では中津川市がどのような対策を行えば若者がより定住してもらえるのかを検討し、その対策を提案する。 社会福祉協議会の課題では、小学生向けに「福祉出前講座」を考え、やってみよう!! 福祉出前講座に関わることで、「地域のお姉さん・お兄さん」になる!を目標に課題解決の提案を行った

<p>取り組み内容</p>	<p>政策推進課チームは、第1段階として中津川市役所政策推進課の方に現状の講義やインタビュー調査を実施し、課題に対して学ぶことから始め、第2段階としてそのあと本学の学生を対象としたアンケート調査を設計し、実施、分析を行った。分析結果については政策推進課に対してプレゼンテーション報告会を行い、フィードバックをいただいた。</p> <p>5月 政策推進課の課題説明  6月 政策推進課への聞き取り調査  7月 アンケート調査項目洗い出し  10月 アンケート調査設計  11月 アンケート調査実施  12月から1月 アンケート調査集計、分析  1月から2月 政策推進課への報告会、発表会への参加</p> <p>社会福祉協議会チームは、第1段階として社会福祉協議会の方に現状の講義を受け、小学生向けの授業を設計するにあたっての注意点等を学び、講座を企画し小学生での出前講座を3回実施した。また地域の高齢者福祉ふれあいサロンにも参加し、実践を行うことで自分たちが高齢者についての知識を深める活動も並行して行った。</p> <p>5月 社会福祉協議会の課題説明  6月 社会福祉協議会から現状や小学生向け講座の設計についての講義  7月 出前講座企画作成  10月 出前講座企画案完成、実施準備  11月 2つの小学校で福祉出前講座の実践  12月 高齢者福祉ふれあいサロン2か所への参加、実践。小学校での福祉出前講座の実践  1月から2月 社会福祉協議会への報告会、発表会への参加</p>
---------------	---